

ブース形（深形）レンジフードファン

形名

V-602K4(-BK) V-604K4(-BK) V-604KD5 V-604KG4
 V-604KE4 V-604KX4 V-605K4(-BK) V-754K4
 V-754KD5 V-904KD5

取付工事説明書

販売店・工事店さま用







取付工事を始める前に、必ずこの取付工事説明書をお読みください。

取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。







- 本製品は住宅の台所用です。業務用途では使用できません。
- 本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限（内装材の制限、可燃物との距離の制限、ジャバラの使用など）がありますので、詳細は行政官庁または、消防署にお問い合わせください。
- 接続ダクトはφ150の鋼板管・スパイラルダクトのいずれかをご用意ください。

■別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

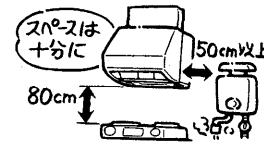
警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
 水かけ禁止	<p>直接水のかかる場所や湿気の多い場所には取付けない</p> <p>感電および故障の原因になります。</p>
 分解禁止	<p>改造や必要以上の分解はしない</p> <p>火災・感電・けがの原因になります。</p>
 プラグを抜く	<p>ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る</p> <p>通電状態では感電することがあります。</p>
	<p>交流100Vを使用する</p> <p>直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因になります。</p>
	<p>製品金属部（金属製ダクト）がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電氣的に接続しないように取付ける</p> <p>接続されていると漏電した場合火災の原因になります。</p>
	<p>アースを確実に取付ける</p> <p>故障や漏電のときに感電することがあります。</p>

注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

	<p>指定のランプを使用する</p> <p>間違ったランプを使用するとランプ周辺が高温になり、やけどをすることがあります。</p>		<p>部品の取付けは確実にを行う</p> <p>落下によりけがをすることがあります。</p>
	<p>本体の取付けは十分強度のあるところを選んで確実にを行う</p> <p>落下によりけがをすることがあります。</p>		<p>配線工事は電気設備の技術基準や内規に従って安全・確実にを行う</p> <p>接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。</p>
	<p>取付けの際は手袋を着用する</p> <p>着用しないとけがをすることがあります。</p>		<p>取付け後長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る</p> <p>絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。</p>

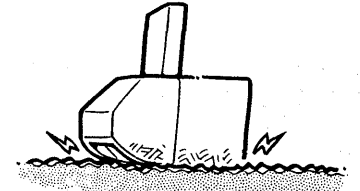
取付け前のお願い

下図の寸法を守る
 （本体の下端からガスレンジまでは80cm以上必要です）



（モータ故障や排気ガスによる塗装面のサビ発生の原因となります）

直接コンクリートなど、傷のつきやすいものうえには置かない



ダクト工事

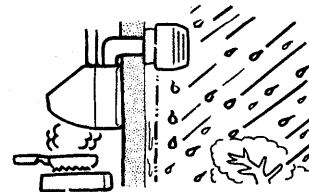
●排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつける。
 先端に屋外フード（システム部材）などを取付けることをおすすめします。また、屋外フードはメンテナンスができる位置に取付けてください。

●次のようなダクト工事はしない。（風量低下や異常音発生の原因になります）

- 極端な曲げ
- 多数の曲げ
- 吐出口のすぐそばでの曲げ
- しぼり



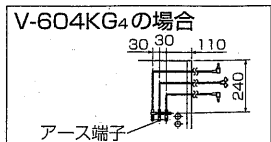
●システム部材の選定には圧損の少ないものを使用してください。
 （製品性能が得られないことがあります）



排気ダクトの先端には条件に合ったシステム部材が用意してあります、ご利用ください。

- 鳥などの侵入防止にベントキャップ
- 雨水の浸入防止に深形フード
- 吹き上げが強いところには耐外風高性能フードを取付けてください。

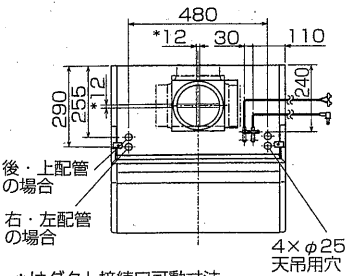
外形寸法図



単位 (mm)

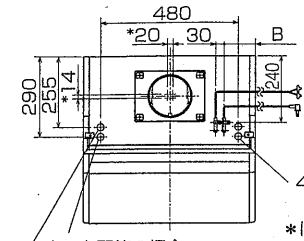
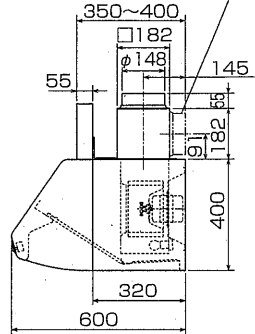
形名	A	B
V-602K ₄ (-BK)	600	110
V-604K ₄ (-BK)		
V-604KE ₄		
V-604KD ₅		
V-604KG ₄		
V-604KX ₄	750	185
V-605K ₄ (-BK)	900	110

V-604KE₄の場合



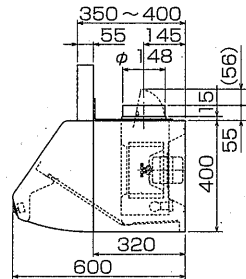
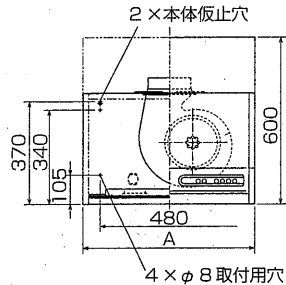
*はダクト接続口可動寸法

後部排気接続口 電気式シャッターごと取付方向をかえることで左・右排気も可能



右・左配管の場合
後・上配管の場合

*はダクト接続口可動寸法



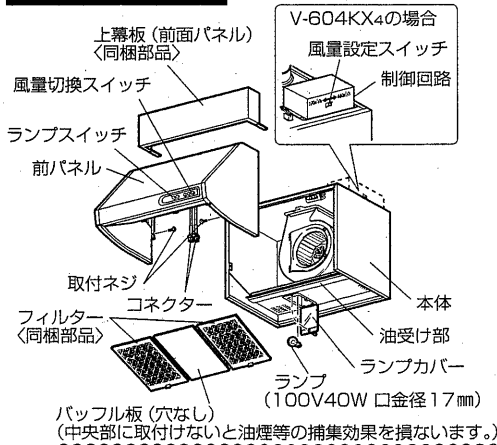
付属部品

●下記の付属部品があります。

L金具……………2個	上幕板取付金具……………2個	チョウボルト…2本
丸ワッシャー (大) ……2個 (小) ……2個	角ワッシャー……………4個	木ネジ (大) ……4本 (小) ……2本
ネジ……………8本	特殊ワッシャー……………4個	ゴムワッシャー……………4個
天吊用ワッシャー……………4個		

ダクト接続口
(同梱部品) V-604KE₄は除く

各部のなまえ



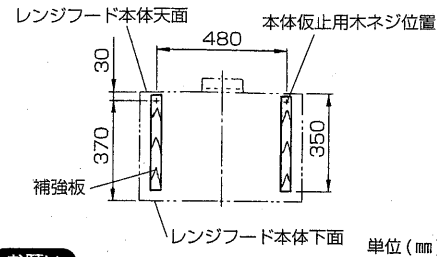
*図はV-604K₄を示します。

■配管スペースがない場合で排気方向を後・左・右に変更するときはシステム部材の排気アタッチメント (P-60MA₃) をご使用ください。

※ V-604KX₄に排気アタッチメント (P-60MA₃) をご使用の場合、右排気できません。

1 取付け前の準備

本体を取付ける前にダクト配管・取付壁・天吊ボルトの準備をします。



板張りの場合

- 板厚20mm以上の場合は直接壁に取付ける。20mm以下の場合は20mm以上になるよう補強板を取付ける。

コンクリート、タイル、土壁の場合

- 新築の場合はあらかじめ補強板を壁に埋め込む。
- 既築の場合はコンクリートビスなどを利用するか補強板を固定して取付ける。
- 既築の住宅では、補強板が壁面より露出することになりますのでレンジフードファンは壁に密着しません。

お願い

- 新築・既築により準備が異なりますがいずれの場合も十分強度をもたせてください。

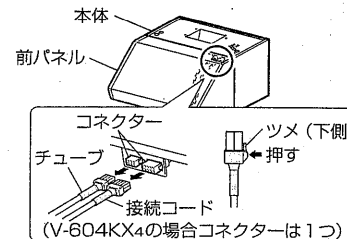
天吊ボルト

- 外形寸法図を参照して天吊用穴位置にあらかじめ市販の吊りボルト (M8) 2本を埋め込む。

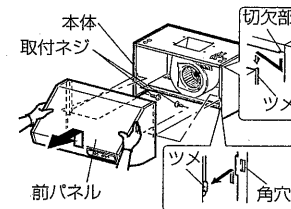
ダクト配管

- 壁穴をあけてその中にφ150のダクト (鋼板管・スパイラルダクト) を配管し、その周囲の仕上げを行う。

2 前パネルをはずす

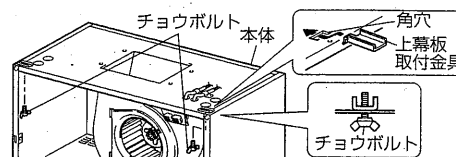


- 1 本体内の右上にあるコネクタを下側にあるツメを押さえながら引き抜く。
 - コネクタのチューブはコネクタからはずさないでください。
 - 本体側面にテープが貼ってある場合は、テープをはがしてください。



- 2 本体内の両側にある取付ネジをはずす。
- 3 前パネルの下側を少し上に持ち上げるように手前に引いて、本体から取りはずす。

3 上幕板取付金具を仮止めする

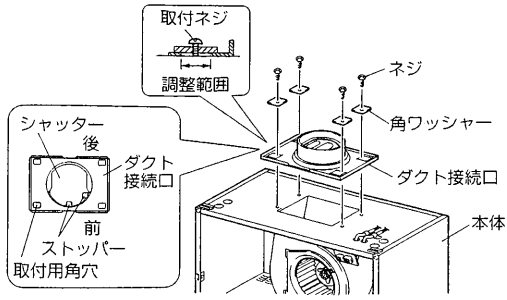


- 上幕板取付金具の引掛部を本体角穴に差し込み、本体内部からチョウボルトで仮止めする。

取付方法

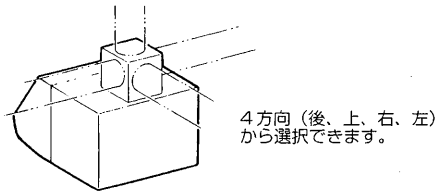
この製品は上部直排方式となっており、排気方向は後・左・右を自由に選択できます。

4 ダクト接続口を仮取付ける



- 図のように必ずストッパーを前にして取付ける。
- お願い**
- ダクト接続口の取付け方向に注意してください。逆に取付けますと排気性能の悪化や異常音発生の原因となります。
- ダクト接続口の取付用角穴が本体の取付穴の中心になるように付属のネジ・角ワッシャー（各4個）で仮取付けする。

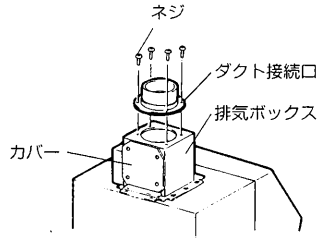
■ V-604KE4 の場合



4方向（後、上、右、左）から選択できます。

工場出荷時は上排気。
後・右・左排気の場合はダクト接続口の取付位置をかえる。

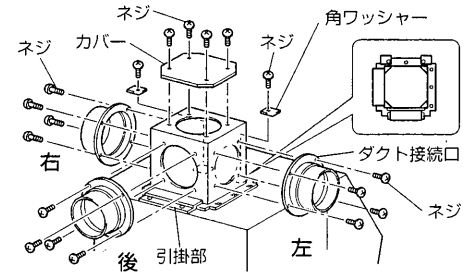
出荷時
〈上排気〉



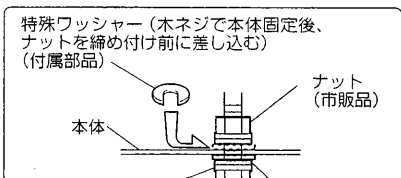
- 〈上排気の場合〉
- ダクト接続口を付属のネジ4本で排気ボックスに取付ける。

〈後・右・左排気〉

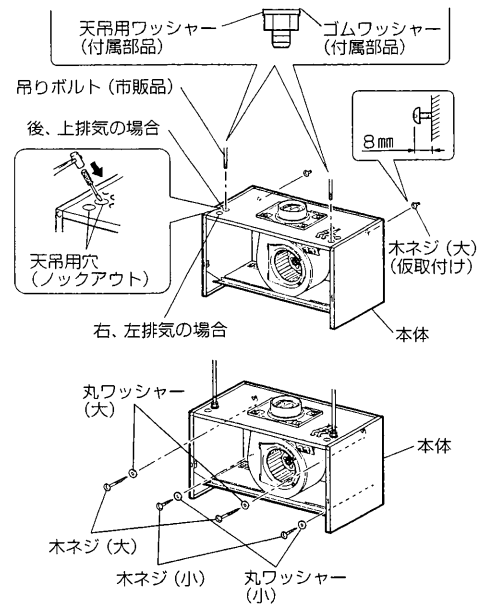
- 〈後・右・左排気の場合〉
- 1 カバーのネジ4本をはずし、カバーを取りはずす。
 - 2 ダクト接続口を付属のネジ4本で排気側に取付け、カバーをはずしたネジで排気ボックスの上部に取付ける。
 - 3 右または左排気の場合は排気ボックスのネジ・角ワッシャーをはずし、ダクト接続口が右または左側になるよう90°回転させ、はずしたネジ・角ワッシャーで排気ボックスを取付ける。



5 本体を取付ける

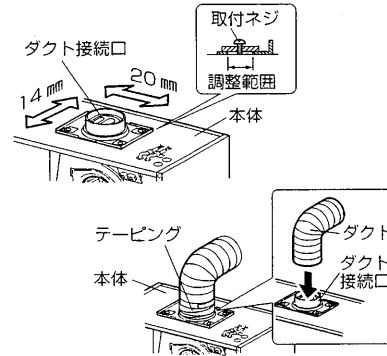


- 1 外形寸法図を参照して、排気方向と天吊用穴位置を確認後、吊りボルトを埋め込み、ナット（市販品4個）と付属の天吊用ワッシャー、ゴムワッシャー（各4個）を取付ける。
- 右または左に排気する場合は、前側の天吊用穴を使用する。
- また付属の木ネジ（大）を図のように仮取付けする。



- 2 本体の天吊用穴（2か所）のノックアウトをハンマーやドライバーなどを使用して打ち抜く。
- 3 吊りボルトを天吊用穴に入れながら本体を仮取付けした木ネジに引掛ける。
- 4 傾きのないように本体内部から壁面に向けて付属の丸ワッシャー（大・小）と木ネジ（大・小）で図のように本体4か所を固定する。
- 5 左図のように付属の特殊ワッシャー（4個）を差し込み、ナット（市販品）を締め付けて本体を固定する。

6 ダクト工事

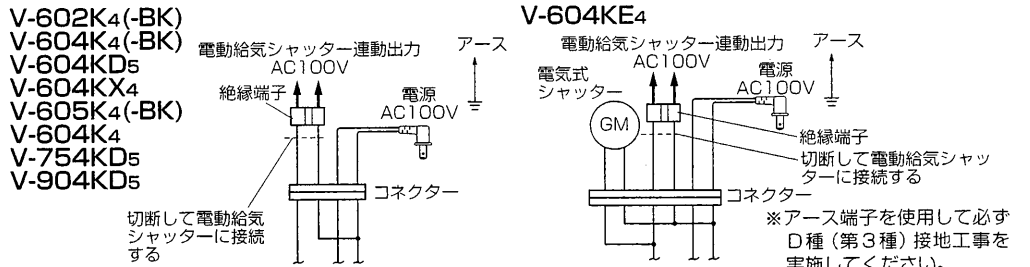


- 1 ダクト接続口取付位置の調整
 - あらかじめ配管してあるダクトとダクト接続口とにずれが出た場合はダクト接続口の取付ネジをゆるめて調整範囲ですらし、ダクトと合わせる。
 - 2 取付ネジを締め付け、ダクト接続口をしっかり固定する。
 - 3 ダクト接続口にダクトを接続し、市販のアルミテープなどで風漏れのないようテーピングする。
- お願い**
- ダクト配管の曲がりが多かったり、配管が長いと風漏れしやすくなるため、その際はダクト接続口の周囲にもテーピングしてください。

7 電気工事

■機種により下記の要領で結線を行い、電源プラグをコンセントに差し込む。

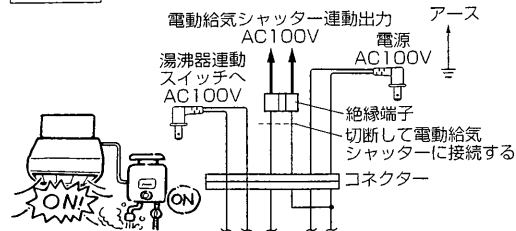
結線図 電動給気シャッターを使用する場合は、太線部分を結線する。



■ V-604KG4 の場合

このレンジフードファンは市販の換気扇連動スイッチ・圧力スイッチを組合わせてガス湯沸器と連動運転することができます。工事についてはガス供給事業者（ガス会社）にご相談ください。

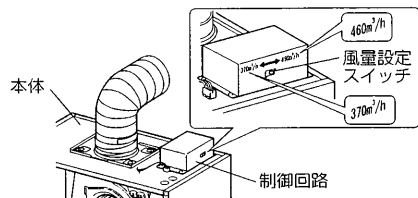
■ 結線図 電動給気シャッターを使用する場合は、太線部分を結線する。



※アース端子を使用して必ずD種（第3種）接地工事を実施してください。

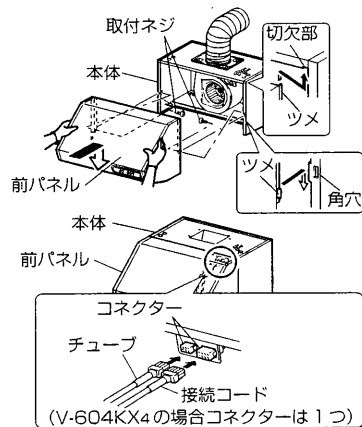
- 風量切換スイッチを「切」にしても、ガス湯沸器を使用するとレンジフードファンが「強」運転し、ガス湯沸器を止めるとレンジフードファンも停止します。
- 風量切換スイッチを「中」または「弱」にして運転中、ガス湯沸器を使用するとレンジフードファンが「強」運転に切りかわり、ガス湯沸器を止めると「中」または「弱」運転に切りかわります。

■ V-604KX4 の場合（風量設定）



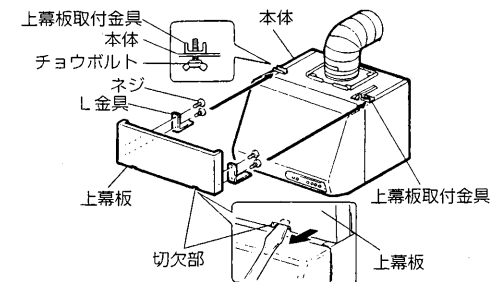
このレンジフードファンは強ノッチの風量を370m³/hか460m³/hに選択できます。
● 工場出荷時は460m³/hにしてあります。

8 前パネルの取付け



- 1 前パネル上部のツメを本体切欠部に引掛ける。
- 2 前パネル下部のツメを本体下部の角穴に押し込み、下に下げる。
- 3 前パネルと本体の両側を本体内部から図のようにはずした取付ネジ2本で固定する。
- 4 前パネルのコネクターを本体にカチッと音がるまで差し込み接続する。
● はずれないことを確認する。

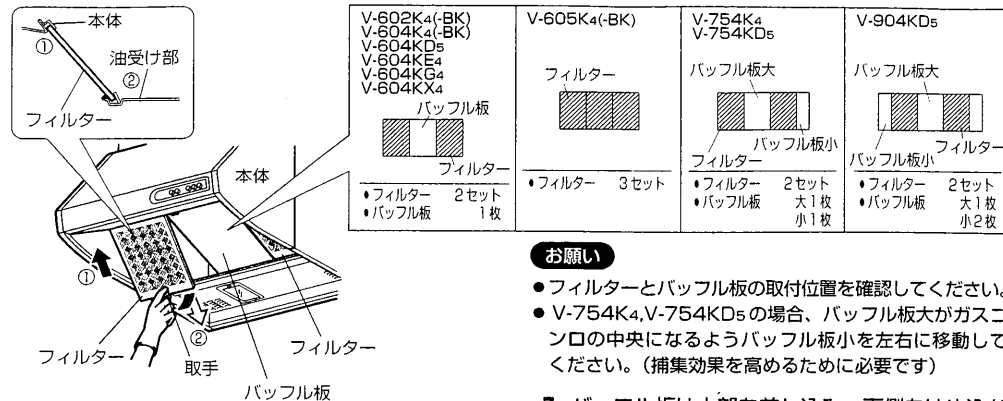
9 上幕板の取付け



- 1 上幕板にL金具を付属のネジ（各2本）で固定する。
- 2 上幕板を本体と上幕板取付金具にはさむようにして、前側からスライドさせる。
- 3 吊り戸棚に合わせて、上幕板の前後方向の位置を決め、仮止めしたチョウボルトで締め付け固定する。
● 奥に入りすぎた場合は、上幕板の切欠部にマイナスドライバーなどを引掛けて前に引き出す。

10 フィルター・バッフル板の取付け

●機種により枚数、取付位置が異なります。



試運転

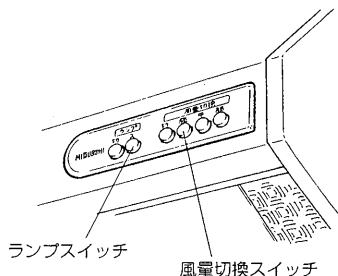
■取付工事が終わりましたら、次の確認をしてください。

警告 ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤ブレーカを切る。（感電することがあります）

1. 本体はしっかりと固定されていますか？ランプはゆるんでいませんか？
2. D種（第3種）接地工事は実施されていますか？
3. 本体内のコネクターが「カチッ」と音がするまでしっかり差し込まれていますか？

■電源プラグをコンセントに差し込み後、次の確認をしてください。

- 1 電源プラグはしっかり差し込まれていますか？
- 2 ランプスイッチを押すとランプが点灯しますか？
- 3 風量切換スイッチを押して風量が切りかわりますか？
● 電気式シャッターが開きますか？（V-604KE4のみ）
● ガス湯沸器を使用するとレンジフードファンが「強」運転しますか？（V-604KG4のみ）
- 4 それぞれの風量で運転した場合、振動や異常音がありませんか？



※ V-604KD5、V-754KD5、V-904KD5 の場合、「切」スイッチを押すと24時間換気となり停止しません。停止させる場合は「切」スイッチを2秒以上押ししてください。

■試運転後、天井および壁などに内装用接着剤や塗料が使用される場合がありますので、本体の保護のために保護材で覆ってください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。